

## 船橋市域から排出される温室効果ガスの状況について

### I 対象とする温室効果ガスの種類

表1 計画の対象とする温室効果ガス

温室効果ガス	地球温暖化係数	船橋市内の主な発生源
① 二酸化炭素 CO <sub>2</sub>	1	• 化石燃料の燃焼等
② メタン CH <sub>4</sub>	25	• 燃料の燃焼等
③ 一酸化二窒素 N <sub>2</sub> O	298	• 燃料の燃焼等
④ ハイドロフルオロカーボン類 HFCs	12 ~ 14,800	冷蔵庫やカーエアコンの冷媒
⑤ パーフルオロカーボン類 PFCs	7,390 ~ 17,340	半導体の製造プロセス等
④ 六ふっ化硫黄 SF <sub>6</sub>	22,800	電気の絶縁体等
⑤ 三ふっ化窒素 NF <sub>3</sub>	17,200	半導体の製造プロセス等

### II 令和元年度の温室効果ガス排出状況

#### 1. 船橋市の温室効果ガス排出量の現状

市域からの温室効果ガス排出量は、算定に使用する都道府県別エネルギー消費統計等の資料が整備される時期の関係で、最新の値は2019年度となっており、温室効果ガス排出量は3,249千t-CO<sub>2</sub>で、基準年度である2013年度から約15.4%削減、前年度比2.9%削減しました。(図1)

このうち、二酸化炭素排出量は3,158千t-CO<sub>2</sub>で、全体の約97%でした(図2)。

なお、2017年度については、冬季の気温が低く、暖房利用が増えたため、主に家庭部門の排出量が増加したと考えられます。一方、2018年度、2019年度については、冬季の気温が前年度に比べ高かったことが排出量の減少理由として考えられます。

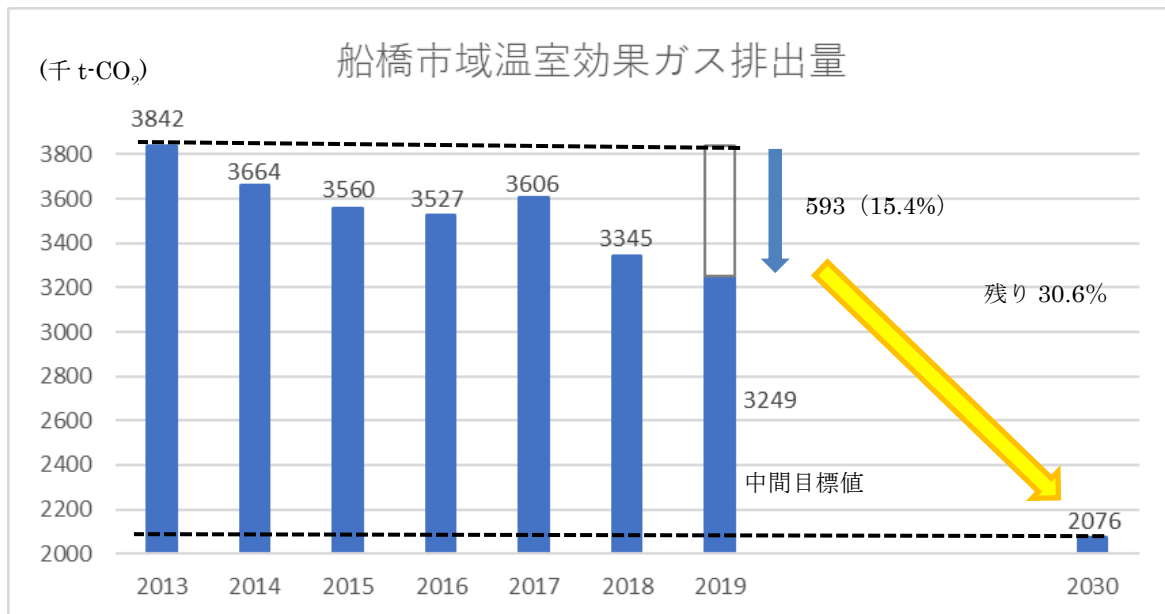


図1 船橋市の温室効果ガス排出量の推移

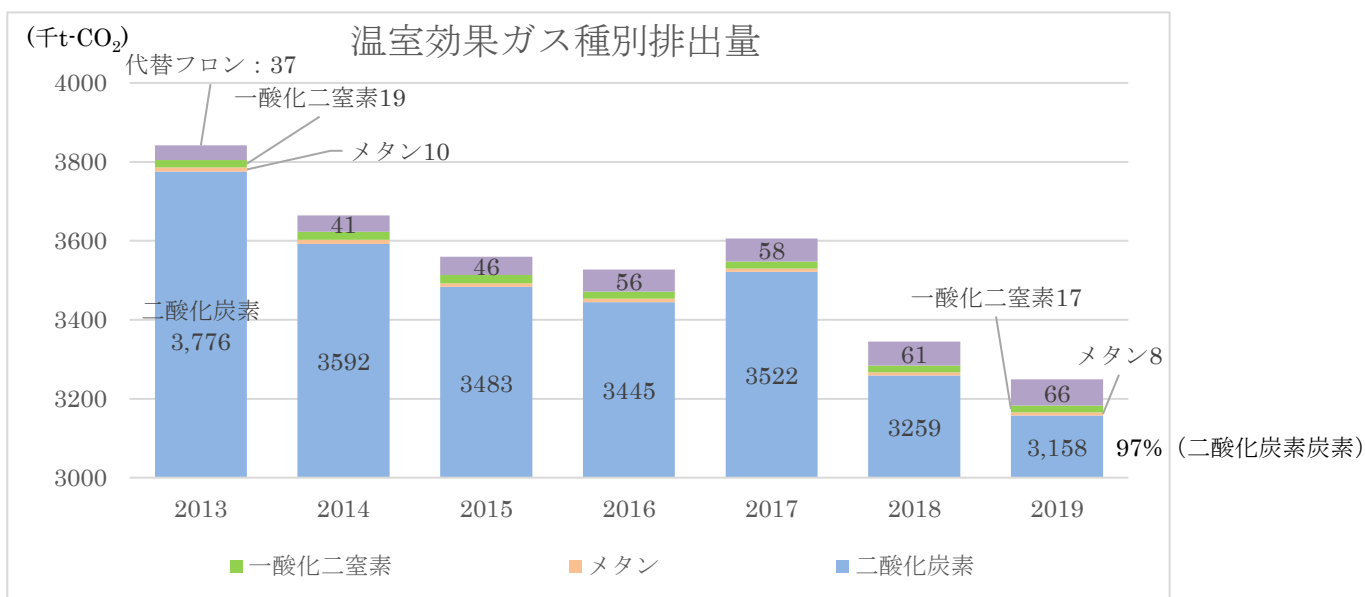


図2 船橋市の温室効果ガス種別排出量の推移

表2 市域から排出される温室効果ガスの目標達成状況

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2030
目標値	-	3,738	3,634	3,530	3,426	3,323	3,219	2,076
現状値	3,842	3,664	3,560	3,527	3,606	3,345	3,249	-
達成率	-	102.0	102.1	100.1	95.0	99.3	99.1	-

※2030年46%削減に向けた年度ごとに必要な削減量から目標値を算定したところ、直近の令和元年度(2019年度)は達成率99.1%であり、概ね目標達成に向け推移しています。

## 2. 船橋市の部門別二酸化炭素排出量

2019年度の部門別の二酸化炭素排出量は、産業部門が最も多い約41%を占めました。二酸化炭素排出量は徐々に減っておりますが、内訳の割合はおおむね変わらずに推移しております。部門別にみると産業部門、業務その他部門、家庭部門は2013年度より減少しており、市民・事業者のエコライフ、エコオフィス行動が進んでいると考えられます。一方で、運輸部門は微増で、市内の営業車、自家用車ともに数が増えていることから自動車利用が進んだことが原因と考えられます。(図3)

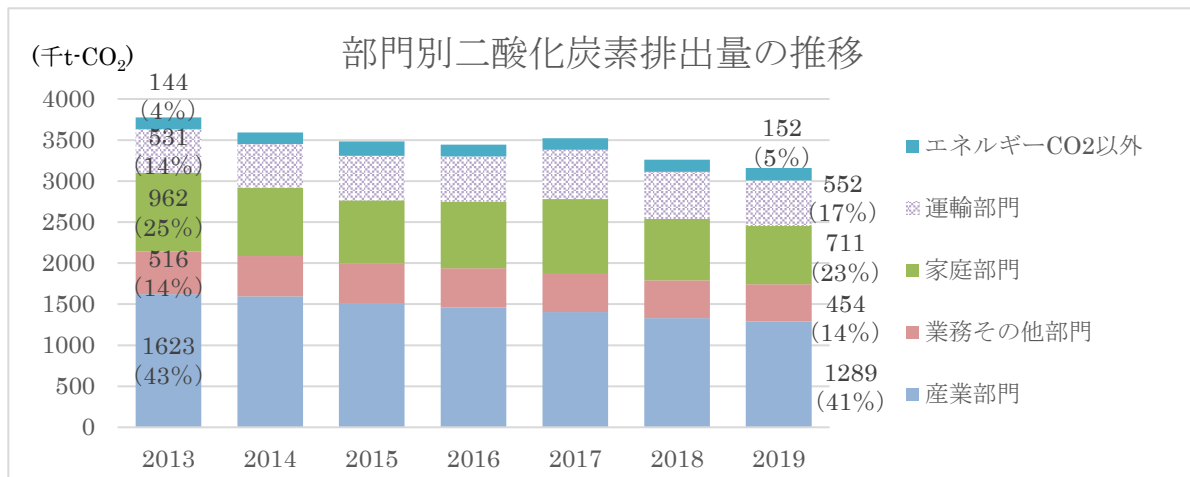


図3 船橋市の部門別二酸化炭素排出量の推移

産業部門の排出量は、2013年度と比較して約21%削減しています。近年、国際的に気候変動対策の必要性が増していることを背景に、エネルギー効率の改善が進んでいると考えられます。また、2019年度は前年度比3%削減していますが、製造業の生産額が減少していることも影響していると考えられます。(図4)

業務その他部門の排出量は、2013年度と比較して約12%削減し、家庭部門の排出は約26%削減しています。これは、省エネの進展や冬季の気温が高かったことによる暖房利用が少なかったことが寄与していると考えられます。(図5・6) また、前年度比では1%削減しております。

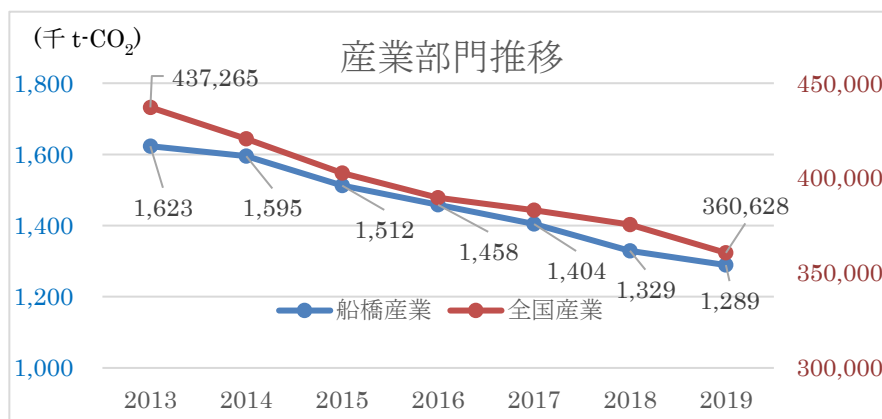


図4 産業部門から排出される温室効果ガスの目標達成状況

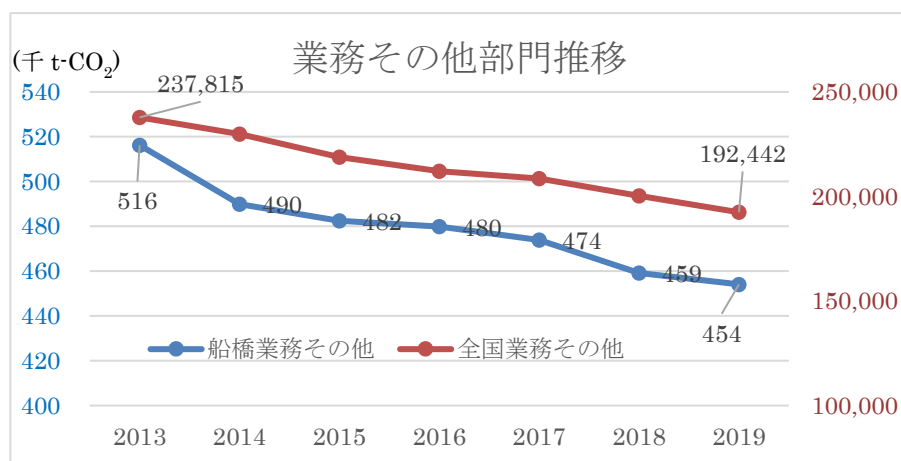


図5 産業部門から排出される温室効果ガスの目標達成状況

表3 産業・業務その他部門から排出される温室効果ガスの目標達成状況

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2030
目標値	-	2,096	2,053	2,011	1,968	1,925	1,882	1,412
現状値	2,139	2,085	1,994	1,938	1,878	1,788	1,743	-
達成率	-	100.5	103.0	103.8	104.8	107.7	108.0	-

※2030年34%削減に向けた年度ごとに必要な削減量から目標値を算定したところ、直近の令和元年度(2019年度)は達成率108.0%であり、概ね目標達成に向け推移しています。

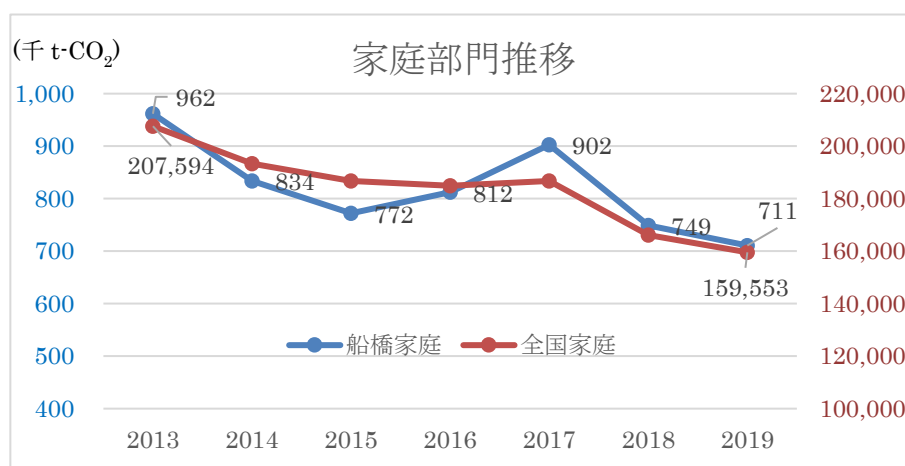


図6 船橋市及び全国の家庭部門における二酸化炭素排出量の推移

表4 家庭部門から排出される温室効果ガスの目標達成状況

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2030
目標値	-	925	887	850	813	775	738	327
現状値	962	834	772	812	902	749	711	-
達成率	-	110.9	114.9	104.7	90.1	103.5	103.8	-

※2030年66%削減に向けた年度ごとに必要な削減量から目標値を算定したところ、直近の令和元年度(2019年度)は達成率103.8%であり、概ね目標達成に向け推移しています。